

令和8年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立平野小学校

1 学校運営の中期目標

令和8年度の現状と課題

「安全・安心な教育の推進」について、令和7年度のいじめ対応においても、いじめを受けた子どもの救済と尊厳を最優先にしてきた。具体的には、「大阪市いじめ対策基本方針」に基づいて対応し、事前に明示したルールを公平・公正に適用する「学校安心ルール」を徹底し、学校ホームページなどでも提示した。また、学校アンケートにおいて、「友だちの気持ちを考えて行動できている（児童）」の項目で93%、「いじめのない学級・学年・学校づくりに努めている（保護者）」の項目についても、96%以上と肯定的な回答の割合が高い値を維持できている。不登校児童の対応では、あらゆる場合にも対応していけるようこどもサポートネットやスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと家庭・学校がより密に連携を図ることができるよう継続している。令和7年度末に行った学校アンケート「学校は安心する場所だと思いますか（児童）」の項目について、肯定的な回答をする児童が93%おり、学校全体の不登校児童の割合も、令和5年度から3年間、1%未満となっている。今年度も引き続き関係諸機関と連携を図りながら、全児童の教育の機会確保に努める。

「未来を切り拓く学力・体力の向上」について、令和7年度の経年調査の結果、国語科に関しては2学年、算数科・理科・英語科に関しては1学年が大阪市平均を下回る結果となった。国語科を領域別に見ると、「話すこと・聞くこと」においては、3学年で大阪市平均を下回り、「書くこと」「読むこと」においては、2学年が大阪市平均を下回った。昨年度から継続して、今年度も校内研究教科を国語科に設定し、全ての学習の基礎基本である「文章を読む力」や「思いや考えを表現する力」を育む授業づくりに粘り強く取り組む。加えて、朝学習やモジュール学習の時間も活用し、全学年で国語科「視写」を重点的に取り組み、「正しい文字や文章表現の習得」と、「読解力・語彙力の向上」に努める。また、算数科では各担当が楽しく、わかりやすい授業を実践するための教材研究の時間を確保し、好事例については学校全体で共有できるようにする。理科では各学年の専科教員、英語科では小中連携英語指導員やC-NETと連携して授業実践を行い、各教科担当の教職員が深く教材研究をできるようにすることで、児童がより楽しくわかりやすい授業を積み重ねられるようにする。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果では、男女ともに体力合計点が大阪市平均値を上回り、女子は全国平均値も上回った。男子は長座体前屈、50m走、立ち幅とびの3種目、女子は20mシャトルラン、50m走、立ち幅とびの3種目で大阪市及び全国平均を上回った。一方、男女ともに握力、上体起こし、ソフトボール投げの3種目では、大阪市及び全国平均を下回り課題も見られた。また、児童質問紙「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目において、肯定的に回答した児童の割合が男子93%、女子89.6%であり、男子は全国平均とほぼ同じ、女子は上回る結果となった。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子2.6%、女子30.4%で、男子に関しては、大阪市及び全国と比較しても大幅に少なかった。女子は、運動が好きではあるが、あまり運動をせず、特に放課後等では体を動かす児童が少ないことがわかる。これまでも継続してきた体育集会やなわとび集会に加え、児童が休み時間に短距離走やボール運動を楽しめる場を設定し、児童が主体的に運動に取り組む計画を体育委員会中心に企画していく。

「学びを支える教育環境の充実」については、ICTに関わる取り組みとして、本校は積極的にデジタル教科書等デジタル教材や学習者用端末を活用してきた。児童アンケート「学習者用端末を使った学習に取り組みたいと思いますか。」の項目において、肯定的な回答をした児童の割合も94%と高かった。ICT関係機器等の活用研修も行き、デジタル教材等の使用を進めている。また、「学校園における働き方改革アクションプラン」については、業務の効率化を図り、会議時間の短縮化・短縮意識の向上に継続して取り組んでいる。昨年度4月～3月の12か月間のうち、月45時間を超えて時間外勤務を行う教職員の割合が50%を上回ったのは4月と6月の2回のみであり、目標を達成できた。また、会議資料のペーパーレス化が定着し、ゆとりの日やゆとり期間の設定、定時終了を目指した打ち合わせや会議、授業や行事準備の分担など、教職員一人ひとりが作業の効率化を進める意識を持ちながら業務に取り組むことを継続する。さらに今年度は校時や電話対応時間を見直し、放課後の業務内容や時間の使い方の改善を進めていく。子どもたちに寄り添う時間を確保するための工夫を重ね、教職員の意識改革を少しずつ進め、今年度もさらに働き方について議論し、改革を継続したい。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和 11 年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を毎年 100%にする。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」の項目について、「そう思う」と回答する児童の割合を毎年前年度より向上させる。
- 令和 11 年度の年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を令和 8 年度より減少させる。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和 8 年度より向上させる。
- 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も 6 年生時の結果を令和 8 年度より向上させる。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和 8 年度より向上させる。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 11 年度の全教職員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を 20 時間以下にする。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上に向上させる。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 年度目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和8年度の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を100%にする。
- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」の項目について、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- 令和8年度末の保護者アンケートにおける「いじめのない学級・学年・学校づくりにつとめていると思いますか。」の項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える保護者の割合を94%以上にする。
- 令和8年度の児童アンケートにおける「学校は安心する場所だと思いますか。」の項目について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える児童の割合を92%以上にする。
- 令和8年度の児童アンケートにおける「学校のきまり・ルールを守ることができていますか。」の項目について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える児童の割合を80%以上にする。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。
- 令和8年度の児童アンケート「毎日の健康のために、手洗いや睡眠に気をつけている」の項目について、「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と答える児童の割合を89%以上にする。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を62%以上にする。
- 「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に掲げる教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を前年度より減少させる。
- 令和8年度の保護者アンケートにおける「学校は、ホームページや学校公開などを通して、開かれた学校づくりに努めている。」の項目について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える保護者の割合を89%以上にする。

大阪市立平野小学校 令和8（2026）年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○令和8年度の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を100%にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」の項目について、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>○令和8年度末の保護者アンケートにおける「いじめのない学級・学年・学校づくりにつとめていると思いますか。」の項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える保護者の割合を94%以上にする。</p> <p>○令和8年度の児童アンケートにおける「学校は安心する場所だと思いますか。」の項目について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える児童の割合を92%以上にする。</p> <p>○令和8年度の児童アンケートにおける「学校のきまり・ルールを守ることができていますか。」の項目について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える児童の割合を80%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>自分を大切に、周りの人も大切にできる集団を育成する。（1－1いじめへの対応）</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年で作成した学年目標に基づき、年に1回以上、学年集会や学校行事を通して集団育成の取組を行う。また、「みんな遊び」を月に1回以上行う。</li> <li>年に3回、人権学習週間を設定し自分や集団を振り返る機会を設けるとともに、児童や集団の実態把握に努める。</li> <li>児童アンケートにおける「友だちの気持ちを考えて行動できていますか。」の項目について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える児童の割合を92%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめ・不登校等の未然防止・早期発見・初期対応を大切にした取組を行う。（1－2不登校への対応）</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学期に1回、人権学習週間を設け、「いじめ・いのちについて考える日」を設定する。また年に3回「いじめアンケート」を実施し、いじめの未然防止、早期発見に当たる。</li> <li>児童アンケートにおける「学校は安心する場所だと思いますか。」の項目について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える児童の割合を92%以上にする。</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートにおける「いじめのない学級・学年・学校づくりにつとめていると思いますか。」の項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える保護者の割合を94%以上にする。</li> <li>・年間通して、1人1台学習用端末を効果的に活用し、スクールライフノートを用いながら取り組む。</li> <li>・いじめ・問題行動の事案発生時には、校内いじめ対策委員会を中心に迅速に対応に当たる。</li> </ul>	
<p>取組内容③【1 安全・安心な教育環境の実現】 学校のきまりについて教職員で共通理解し、児童が規律ある学校生活を送れるようにする。 (1-3問題行動への対応)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のきまりを年度当初に作成、配布し毎週の朝会での指導や学級指導で啓発を行う。</li> <li>・学習規律（始業・終業のあいさつなど）を学校全体で統一する。</li> <li>・学期に1回、学校のきまりを児童が確認できるように児童会を中心に啓発活動を行う。児童の児童アンケートにおける「学校のきまり・ルールを守ることができていますか。」の項目について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える児童の割合を80%以上にする。</li> <li>・児童アンケートにおける「自分から心をこめてあいさつをしようとしていますか。」の項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を91%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容④【2 豊かな心の育成】 キャリア教育の充実を図るため、出前授業やゲストティーチャーなどを招聘するなどして、将来の夢や目標の実現に向けた意欲を育む。 (2-2キャリア教育の充実)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年で、年に1回以上出前授業や体験学習などの取組を行う。</li> <li>・キャリアパスポートを活用し、主体的に学びに向かう力が身につくよう、学期に1回以上、自分の生活を振り返る。</li> <li>・キャリア教育年間指導計画に基づいて6年間系統立てた取組を推進する。</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組み内容①</p> <p>取組み内容②</p> <p>取組み内容③</p> <p>取組み内容④</p>	
<p>後期への改善点</p>	
<p>取組み内容①</p> <p>取組み内容②</p> <p>取組み内容③</p> <p>取組み内容④</p>	

大阪市立平野小学校 令和8(2026)年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 89%以上にする。</p> <p>○令和8年度の児童アンケート「毎日の健康のために、手洗いや睡眠に気をつけている」の項目について、「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と答える児童の割合を 89%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>全学年、朝学やモジュールの時間において、国語科の視写を中心とした学習プリントを作成・活用し、基礎基本の定着を図る。（4-1 言語活動・理数教育の充実）</p> <p>指標</p> <p>月に1回以上（年間12回以上）朝学やモジュールタイムの時間に国語科の視写プリントに取り組み、学習の基礎基本となる正しい文字や文章表現の習得、読解力や語彙力の向上に努める。</p>	
<p>取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>国語科を校内研究教科とし、児童が主体的な学びの中で、思いや考えを表現することができる子どもを育成する授業実践とその振り返りや討議を各学年1回、全学年で年間計6回以上設定し取り組む。（4-1 言語活動・理数教育の充実）</p> <p>指標</p> <p>年2回（4月・12月）行う校内研究学力向上部の国語科児童アンケート「学習したことを使って、文章を書くことができますか。」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を2回目のアンケートで年度当初より向上させる。</p>	
<p>取組内容③【5 健やかな体の育成】</p> <p>体育集会やかけ足集会を行い体力の保持増進を図る。また体育委員会が中心になり、体を動かす遊びを行うことで、多くの児童が楽しく運動に取り組める環境をつくる。（5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進）</p> <p>指標</p> <p>令和8年度の児童アンケート「運動したり体を動かして遊んだりすることが楽しいですか。」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【5 健やかな体の育成】</p> <p>毎月、ほけんだよりを発行し、児童や家庭に健康に留意するよう呼びかける。また、健康委員会を中心に朝会や校内放送でも手洗いうがいなどを励行するよう、感染症予</p>	

防のための呼びかけを行う。	( 5-2 健康教育・食育の推進 )	
<p>指標</p> <p>令和8年度の児童アンケート「毎日の健康のために、正しく手洗いや睡眠に気をつけていますか。」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を89%以上にする。</p>		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
<p>取組み内容①</p> <p>取組み内容②</p> <p>取組み内容③</p> <p>取組み内容④</p>		
後期への改善点		
<p>取組み内容①</p> <p>取組み内容②</p> <p>取組み内容③</p> <p>取組み内容④</p>		

大阪市立平野小学校 令和8(2026)年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した  
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を62%以上にする。</p> <p>○「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に掲げる教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を前年度より減少させる。</p> <p>○令和8年度の保護者アンケートにおける「学校は、ホームページや学校公開などを通して、開かれた学校づくりに努めている。」の項目について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える保護者の割合を89%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6 教育DXの推進】</p> <p>ICT支援員と連携し、デジタル教材や学習者用端末の活用について、助言や研修を受け教員のICT活用能力の向上に努める。(6-1 ICTを活用した教育の推進)</p> <p>指標</p> <p>教員のICT活用能力の実態をとらえ、デジタル教材や学習者用端末の活用についての校内研修を年1回以上行う。</p>	
<p>取組内容②【6 教育DXの推進】</p> <p>授業の中で、デジタル教科書や学習者用端末を用いる頻度を昨年度より向上させる。また、デジタルドリルの活用を進める。(6-1 ICTを活用した教育の推進)</p> <p>指標</p> <p>令和8年度の児童アンケート「学習者用端末を使った学習に取り組みたいと思いますか。」に対して、「そう思う(どちらかといえばそう思う)」と回答する児童の割合を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>業務の効率化を図り、会議形式に工夫を取り入れることで子どもたちに寄り添う時間を確保する。(7-1 働き方改革の推進)</p> <p>指標</p> <p>月に45時間を超えて時間外勤務を行う教職員の割合が50%を上回る月を、年間6月までにする。</p>	
<p>取組内容④【9 家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】</p> <p>開かれた学校を目指して、地域や保護者へ教育活動を発信する。(9-1 教育コミュニティーづくりの推進)</p> <p>指標</p> <p>年2日以上学校公開日を設定する。また、学校全体で毎週学校ホームページを更新したり、各学年月に1回学年だよりを発行したりして、日々の教育活動や学校の方針、取組など、教育実践を発信する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取り組み内容①

取り組み内容②

取り組み内容③

取り組み内容④

後期への改善点

取り組み内容①

取り組み内容②

取り組み内容③

取り組み内容④

### 3 本年度の自己評価結果の総括